

2017年10月10日 発行

# サポセン和歌山

更生保護サポートセンター和歌山：〒640-8157 和歌山市 8 番丁 4 ・ 八番丁館 3 F

発行責任者：  
和歌山保護司会会長  
編集：企画調整保護司

TEL：073-460-9298  
FAX：073-425-1301

E-mail：saposen\_w@ares.eonet.ne.jp

第  
**29**  
号

## 今年も 24 名の方々にご苦勞いただきました 第 67 回「社明作文コンテスト」一次審査終了（和歌山市分）



### 沢山の「応募作品」と真剣に向かい合っの審査会でした

去る 9 月 19 日、更生保護サポートセンター和歌山において第 67 回社明作文コンテスト第一次審査会が開催されました。

ご苦勞いただいた係員・審査員は合わせて 24 名。朝 10 時より午後 4 時まで、寸暇を惜しんでよい作品を見逃すまいと終日真剣に取り組んでいただきました。

今回の応募数は小学校 8 校・221 点、中学校 15 校・796 点、総合計 1017 点でした。昨年とほぼ同数の応募数でしたが、学校数で比べると小学校で 8 校・中学校で 3 校、合わせて 11 校減っているのが気になる所でした。



### 審査にご苦勞いただいた方々

#### 【統括・集計事務】

審査委員長 保護司会会長 小西 健之  
// 副委員長 担当副会長 森 幸子  
// 副委員長 担当理事 玉井 良弘  
// 副委員長 担当部会長 宮本 二  
// 副委員長 センター長 奥田 雅晴

#### 【審査員】

保護司会東支部：

・坂本 紀美子 ・野間 弓子  
・玉井 康臣 ・角倉 耕一

保護司会西支部：

・得津 壽美子 ・西村 順子  
・岩橋 利茂 ・林 吉雄

保護司会南支部：

・北口 勲 ・杉谷 睦生  
・木村 晶三 ・中 智子

保護司会北支部：

・小川 史乗 ・角田 秀樹  
・小川 成子 ・堂坂 清

更生保護女性会：

・井本マチ子

B B S 会：

・金田 郁子

（敬称略 以上 24 名）

取材：サポセン・奥田 記

北支部では、7月22日午前11時からパームシティで、「社会を明るくする運動」の街頭啓発を行いました。当日は、北支部保護司、更生保護女性会、BBS会から約40名が参加。炎天下での厳しい活動となりました。

沢山の配布物品を用意したのですが、約30分で終了となりました。「社会を明るくする運動です」あるいは「和歌山保護司会です」等一声・一声かけながらの広報でしたが、無

関心な人・配布物品を見て横を向く人・『ご苦労さま・・・』と声をかけてくれる人等さまざまでした。

まだまだ「この運動そのものが定着していない」という思いを強くしました。



当北支部においては、ミニ集会は地区持ち回りで開催されています。本年は楠見地区が担当し、前・乾支部長より地区責任者として進めて欲しいとの指示があった。

早速、会場と開催日の選定に取り掛かり、7月29日(土)・河北コミュニティセンターと決めました。その後、森支部長が就任。サブリーダー2名(山本・西本保護司)を指名し役割分担を決める。続いて講師の選定、招待者、司会者、当日の進行等を話し合い、まず集客に力点を置き取り組みました。

招待者を尾花市長にお願いすることとし、地区住民に周知のピラを200枚作成。自治会長や各種団体長に持参し動員を依頼。同時に回覧板で楠見地区住民に徹底しました。

当日は岸本・門衆議院議員も出席いただき、100名余の大盛況のミニ集会となりました。これもひとえに楠見地区12名の保護司が「心を一つ」にし取り組んだ結果です。

皆様に感謝、感謝・・・。

## 平成29年度 和歌山県更生保護功労者顕彰式

ぜひ支部の受彰者にお祝いの拍手を送りに来てください。



◇日時 平成29年10月26日(木)  
午後2:00~4:00

◇場所 ホテルグランヴィア和歌山6階

◇内容 ・更生保護功労者顕彰式典  
・社会を明るくする運動  
優秀作文の朗読

## 第1回「新任さんいらっしゃい」研修会

9月27日(水)・サポートセンター

### 和やかに 真剣に 充実した時を共有できました

【研修会参加者】

北井 勝也(東)・佐野 浩美(南)  
下岡 一夫(北)3名(平成26年度委嘱)

【企画調整保護司】

乙井八重子・杉谷 睦夫・森 幸子

参加された3名の先生方の、保護司活動への真摯な態度と熱い志が、しっかりと伝わってきて、逆に本当に勉強になりました。とのベテラン保護司の一致した感想でした・・・。

皆様ご苦労さま。ありがとうございました。

# 東支部・河南地区「社明月間」の活動報告

報告者：中村 四郎

『社会を明るくする運動』の一環として、毎年実施している駅前や各地区の祭り・行事に合わせて行う街頭啓発について、今年も更生保護女性会第7分会(江川恵美 会長)と、当該地区の保護司が共同してその準備に当たった。

平成29年6月25日(日)午後1時30分河南コミュニティセンターに集う。初めに各地区の更生保護情報の交換と自己紹介を。その後、机の位置

を並び替え、全員で沢山の啓発グッズにシールを貼る作業に取り組む。それが終了すると、それぞれの地区の行事に合わせ、啓発グッズの配分作業に取りかかりました。

何しろ数多くの啓発グッズであり、毎年大変な作業ですが、日頃交流する機会の少ない更生保護女性会とのコミュニケーションの場としての役割も果たしていて、貴重な時間でもあります。



西和佐・和佐・小倉・岡崎・東山東・安原の各地区の代表者が持ち帰った「ボールペン、うちわ、ティッシュ」等の啓発グッズは、地域の住民が「更生保護」に少しでも関心を持ってもらえればと願いつつ、伊太祁曽神社まつり・麦の郷まつり・高積まつりや、各地区小学校での夏祭り、駅前等での啓発活動で手渡されました。



写真① ②は、シール貼り付け作業に奮闘する参加者

③伊太祁曽神社の輪ぐりに来た親子づれに一声かけて

※東支部ではこの他に「河北」・「中」の3地区に分かれ、同様の活動を実施しています。

平成29年度 三者合同研修会（保護司会・更生保護女性会・協力雇用主会）

# 巧みな話術と分りやすい説明に全員納得

●平成29年9月11日(月) ●紀三井寺はやし ●参加者198名

テーマ：認知症の正しい理解～認知症と犯罪予防について～

講師：介護福祉士 長森 秀尊 氏



・お待ちかねの懇親会・  
しっかり交流できました

恒例の懇親会は、研修終了後2階の宴会場で開催。司会は、所用のため遅参される野々村総務部会長に変わり、西支部の○●保護司が担当。熊部所長の発声で幕を開け、約2時間大いに盛り上がりを見ました。参加者は106名でした。



9月11日「紀三井寺はやし」にて、竹内優子研修部会長の司会で恒例の三者合同研修会が開催された。今年は部外講師による講演会で、テーマも「認知症の正しい理解」と身近であったのか？はたまた、サブテーマの「認知症と犯罪予防」に惹かれたのか、200名近くの出席者で会場はほぼ満員となった。

小西保護司会会長のごあいさつに続き、協力雇用主会の岩橋一博氏、熊部観察所所長よりご挨拶をいただき研修会の幕開けとなった。

お話慣れされている長森講師の巧みな「つかみに」参加者はたちまち講

演に引き込まれる。その上、的確なパワーポイントと相まって、話は分りやすく、小生のくたびれた頭脳と心にもストンと入り込む・・・。

もう少し時間があれば、活発な質疑応答もできたのにと少々残念に感じるほどであった。個人的な話で恐

## 具体的な対応のポイント

- まずは見守る
- 余裕をもって対応する
- 声をかける時は一人で
- 後ろから声をかけない
- 相手に合わせてやさしい口調で
- おだやかに、ハッキリした滑舌で
- 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり

▲パワーポイントの1枚

縮であるが、私の実姉も認知症を煩い十数年。現在、某施設のグループホームに入所中である。お話の随所に「そうそうそのとおり」「え、そうだったのか」と「これからは、対応を変えない」と、強く感じるものがしばしばでした。

また、私達保護司が対象者と向かい合う時にも、大変参考となるお話も多く聞け充実した研修課であったと思う・・・。

(取材：サポートセンター 奥田)

### ①第3回「新任さんいらっしゃい」

- ・と き：11月8日
- ・ところ：サポートセンター和歌山

### ②サポートセンター運営委員会

- ・と き：11月6日
- ・ところ：サポートセンター和歌山

### ③人権フェスタ映画会（同封チラシ参照）

- ・と き：11月11日
- ・ところ：ビッグホール

保護司会  
各支部  
関係団体等  
の行事  
活動予定

### ④北支部・第3期定期例研修

- ・と き：10月19日
- ・ところ：河北コミュニティセンター

### ⑤4支部合同研修会（体験発表）

- ・と き：11月13日
- ・ところ：ビッグ愛

### ⑥和歌山県更生保護女性連盟結成60周年記念大会（11月15日・ホテルグランヴィア和歌山6階）